

備前市 事務事業 評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	国民健康保険運営事業	コード	02-01-07-01	担当課	保健課 保険医療係
事業実施期間	平成17年度から		担当者	末長章彦	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれる まちづくり			
	中項目	やさしさあふれる まちづくり			
	小項目	保険給付(国保)			
	施策	国保運営事業			

事業について	
目的	国保資格の得喪を適正に処理することにより加入者の資格適正化を図る。
対象 (誰のために)	備前市国民健康保険加入者
内容	国民健康保険法第5～9条に基づき国民健康保険の届出を適正に受付処理し、電算処理により保険証の発行、被保険者の管理をする。また適正な医療費のためにレセプト点検を行う。また収納率向上対策事業を実施する。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
国保加入者総数(平均加入者)	16,347 人	人	人
運営協議会開催回数	3 回	人	人
収納率向上対策事業徴収金	10,502,512 円	円	円
短期証・資格証発行	415 枚	枚	枚
	17 人	人	人
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 51,868 人保補助金 42,021	直接事業費 人保補助金	直接事業費 人保補助金
	人件費 15,535 受益者負担 市債	人件費 受益者負担 市債	人件費 受益者負担 市債
	合計 67,403 一般財源等 25,382	合計 0 一般財源等 0	合計 0 一般財源等 0
必要人員	2.40 人	人	人
結果指標①	結果指標名	加入者一人当たり経費	
	結果指標量	16,347	
	単位	人	人
	対前年比	—	0.00%
	事業費	67,403,000 円	#DIV/0!
単位当たりコスト①	4,123 円	#DIV/0!	#DIV/0!
結果指標②	結果指標名	収納待回事業費効果	
	結果指標量	10,502,512	0
	単位	円	円
	対前年比	—	0.00%
	事業費	5,057,000 円	0 円
単位当たりコスト②	0.48 円	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果			
成果指標名	収納率	式又は説明	現年国保税調定額に対する収納額割合
	17年度		
成果指標量	90.29	0	0
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
到達目標値	92%	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 国民健康保険法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	現職員数で適正な資格管理事務等ができていますが、国保加入者の急激な増加や制度の複雑化に伴い事務量は毎年増加している。このため職員の質向上と窓口業務の迅速化、資格管理の適正化を今まで以上に推進していく必要がある。 評価区分 <A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	16,500人	結果指標量②	15,000,000円
目標値 成果指標量	92%		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	加入者の増加により診療内容・資格課り等が増加すると見込まれるため点検の強化に努める。	毎月	医療費の適正化につながる。
効率性	県、審査機関、備前支部管内での研修会に積極的に参加し職員の資質向上に努める。	毎年	迅速かつ適正な事務処理につながる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。